



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第118期（2018年4月1日から2019年3月31日）も第2四半期を  
終了いたしましたので、会社の近況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 吉川 芳和



### 当第2四半期の経営成績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇  
用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果等に  
より、景気は緩やかな回復基調が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移  
し、民間設備投資も増加しているものの、労務費や原  
材料価格の上昇などの影響もあり、厳しい経営環境が  
続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以

#### 企業理念

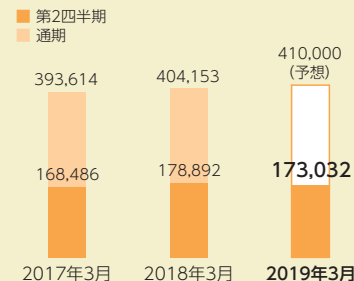
わたしたちは  
確かなものづくりを通して  
豊かな社会の実現に貢献します

#### 行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

#### 連結決算ハイライト

#### 売上高（単位：百万円）



下「当社グループ」といいます。)は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,730億32百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。利益につきましては、営業利益は112億74百万円（前年同四半期比23.5%減）、経常利益は125億30百万円（前年同四半期比20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億75百万円（前年同四半期比22.7%減）となりました。

## 通期の見通しについて

第3四半期以降の経営環境につきましては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が、景気を下押しするリスクとして懸念されます。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移していくことが見込まれ、民間設備投資も増加が続くことが

## 第118期 連結業績予想

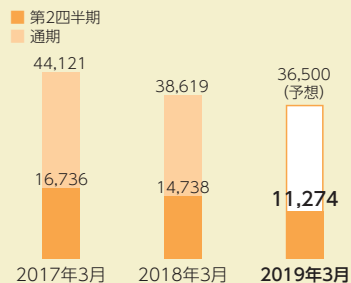
	億円	前期比
売上高	4,100	+1.4%
営業利益	365	-5.5%
経常利益	380	-5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	250	-6.1%

期待されますが、企業間の熾烈な受注競争、労務費や原材料価格の上昇など、業界を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

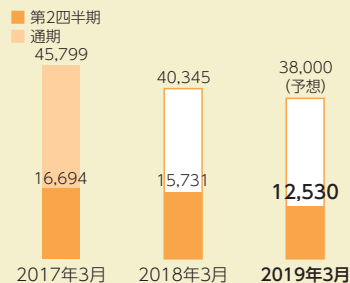
このような環境の中、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

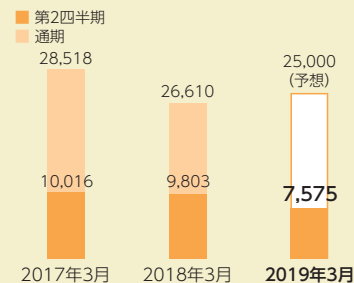
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



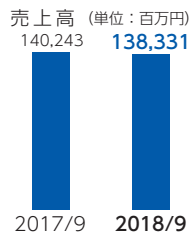
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



## 事業別の概況

# 建設事業

当社グループは建設業法に基づく国土交通大臣許可を受けた建設業、およびこれに関連する事業を行っています。建設事業は当社グループの主要部門であり、「舗装土木事業」「一般土木事業」「建築事業」で構成されています。



売上高構成比



### 舗装土木事業



#### 事業内容

1934年の設立以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を活かした道路舗装土木事業を行ってきました。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持修繕の重要性が一層高まっています。

売上高

837億33百万円  
前年同期比 7.8%増

営業利益

77億41百万円  
前年同期比 0.5%減

### 一般土木事業



#### 事業内容

当社グループは、「土」とのかかわりから培ってきたノウハウを基に、各種土木事業の施工を実施してきました。これからも、自然との融和を図り、大地の有効活用により、ゆとりある快適な環境を創出していきます。

売上高

278億90百万円  
前年同期比 3.1%増

営業利益

17億49百万円  
前年同期比 10.1%増

### 建築事業



#### 事業内容

1983年から本格的に建築事業に取り組み、組織力を活かした総合事業に大きな信頼を寄せていただいております。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。

売上高

267億6百万円  
前年同期比 24.8%減

営業利益

18億75百万円  
前年同期比 36.4%減



北陸自動車道（特定更新等）  
魚津IC～黒部IC間舗装補修工事  
(2017年度)



新名神高速道路  
神戸舗装工事



(仮称) プレサンスロジエ桃山御陵  
新築工事



DDセルフ上尾小敷谷店  
新設工事

## 主要完成工事

発注者	工事名
首都高速道路株式会社	(修) 上部工補強工事（鋼床版）3-205
中日本高速道路株式会社 金沢支社	北陸自動車道（特定更新等）魚津IC～黒部IC間舗装補修工事（2017年度）
西日本高速道路株式会社 関西支社	新名神高速道路 神戸舗装工事
株式会社プレサンスコーポレーション	(仮称) プレサンスロジエ桃山御陵 新築工事
JXTGエネルギー株式会社	DDセルフ上尾小敷谷店新設工事

## 主要未成工事

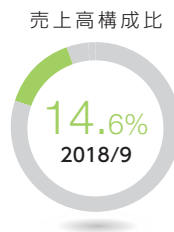
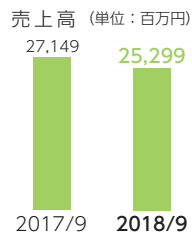
発注者	工事名
東日本高速道路株式会社東北支社	東北中央自動車道 上山舗装工事
中日本高速道路株式会社名古屋支社	新名神高速道路 菟野舗装工事
東日本高速道路株式会社新潟支社	上信越自動車道 上越舗装工事
JXTGエネルギー株式会社	千葉幕張水素ステーション建設工事
大阪市水道局	柴島浄水場上系配水池改良工事

製造・販売事業



事業内容

道路を舗装するために最も多く使用されている材料がアスファルト合材です。当社グループは全国約160ヶ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、当社グループの工事で使用するだけでなく、ほかのお客様にも販売しています。また、循環型社会形成のために、舗装廃材のリサイクルシステムを構築し、アスファルト舗装廃材を受け入れて、当社グループ工場で再生・再利用しています。

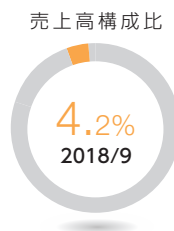
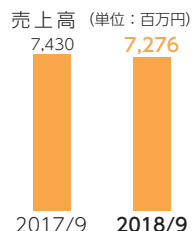


開発事業



事業内容

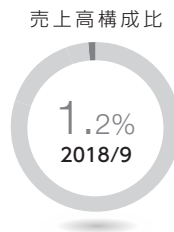
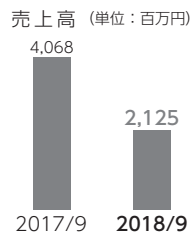
当社グループのネットワークとノウハウを生かし、デベロッパーとして安心・快適な街づくりに取り組んでいます。宅地開発・建物分譲事業、マンション分譲事業 (ル・サンク [Le Cinq] シリーズ)、オリジナル住宅事業 (グラチア [GRATIAE] シリーズ)、不動産賃貸事業 (アーバス [ABAS] シリーズ) などを展開し、都心部や中核都市で、安心・快適に過ごせる商品を提供しています。



その他



リゾート事業



## N-PNext

NIPPO - Paving Next

ICT, IoTで  
舗装現場をつなぐ取り組み

### 魅力ある建設業、働きやすい職場を目指す

イラストは舗装補修工事のイメージ

NIPPOでは舗装工事で最新のインターネット技術を積極的に活用し、生産性はもちろん、従事者の安全性向上につながる取り組み「N-PNext」を展開しています。国土交通省が提唱しているi-Constructionの先端を行くICT舗装の展開であり、省人化・高精度化・情報共有・データ活用など、さまざまな効果が生み出されると期待されています。

時代の最先端を行く技術力を取り入れ、舗装工事のイメージを変える、舗装現場の労働環境を変える、NIPPOの新たなチャレンジが続いています。



データは自動的にCLOUDに蓄積し、共有化

